

EDINEXT/Form Ver5.1 L21 アップデート手順書

はじめに

●アップデートモジュールの適用条件

- 本アップデートモジュールは「標準納品システム EDINEXT/Form」の以下のバージョンのいずれかがインストールされているシステムへ適用可能です。

ver5.0

ver5.1

ver5.1 L01 ~ L20

- ※ 現在ご使用の「標準納品システム EDINEXT/Form」のバージョン確認方法は、「2. バージョン・レベルの確認」を参照してください。

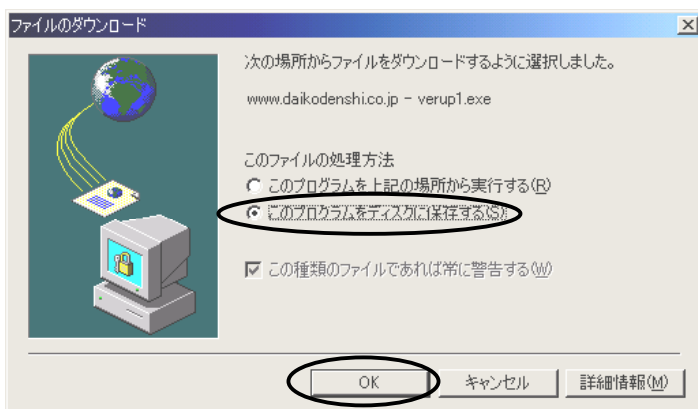
1. 「アップデートモジュールの適用方法」

WindowsXP、Windows2000、WindowsNT4.0 の場合、アップデート作業は制限ユーザー及び Guest ユーザーでは作業できません。管理者権限ユーザーで作業下さい。

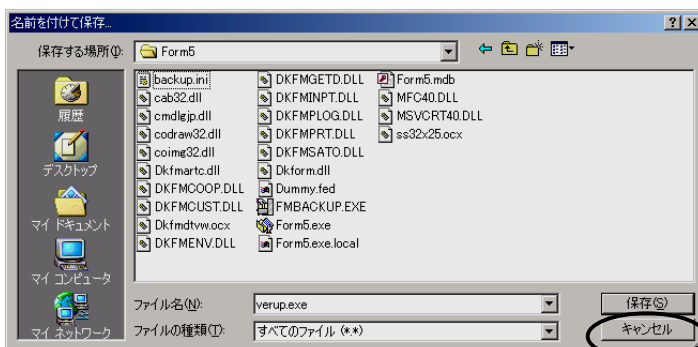
アップデート対象プログラムが起動している場合は終了して下さい。またウイルス検知ソフトが常駐している場合は、いったん終了させ、アップデート作業完了後再起動ください。

- (1) 本手順書を掲載しているホームページから、「標準納品システム Form V5 シリーズ」の「ダウンロード」をクリックします。CDパッケージに「Web版」という記載があればWeb版を、それ以外であればファイル転送版を選択します。

- (2) お使いのブラウザの機能によりプログラムをダウンロードします。

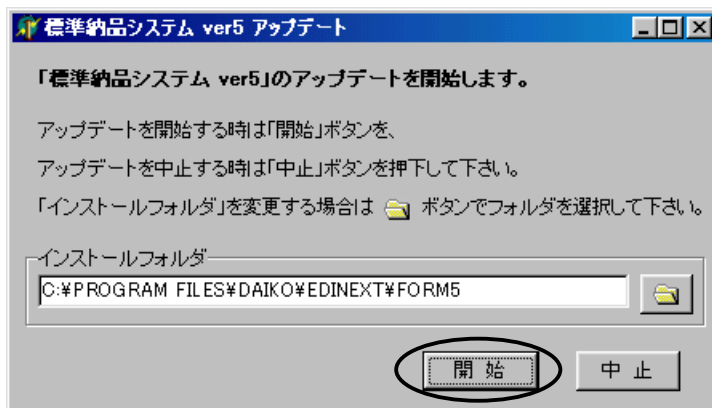


- 上の画面はインターネットエクスプローラーをお使いの場合の例になります。



- ブラウザの種類と設定によっては直接上の画面が表示されます。
- 保存先は任意の場所で結構です。

- (3) ダウンロードが完了したら、ダウンロードしたファイルをダブルクリックして解凍します。解凍先フォルダの指定ができますので、任意のフォルダをご指定ください。
- (4) 解凍が完了したら、解凍先フォルダに「DISK1」フォルダが作成されます。「DISK1」フォルダの「UpDate.exe」をダブルクリックしてバージョンアップ処理を起動します。
- (5) 下記の画面が表示されたらインストールフォルダに表示されている内容を確認します。インストールが実際にされているフォルダでない場合は、正しいフォルダを指定します。確認後、「開始」ボタンをクリックしてください。



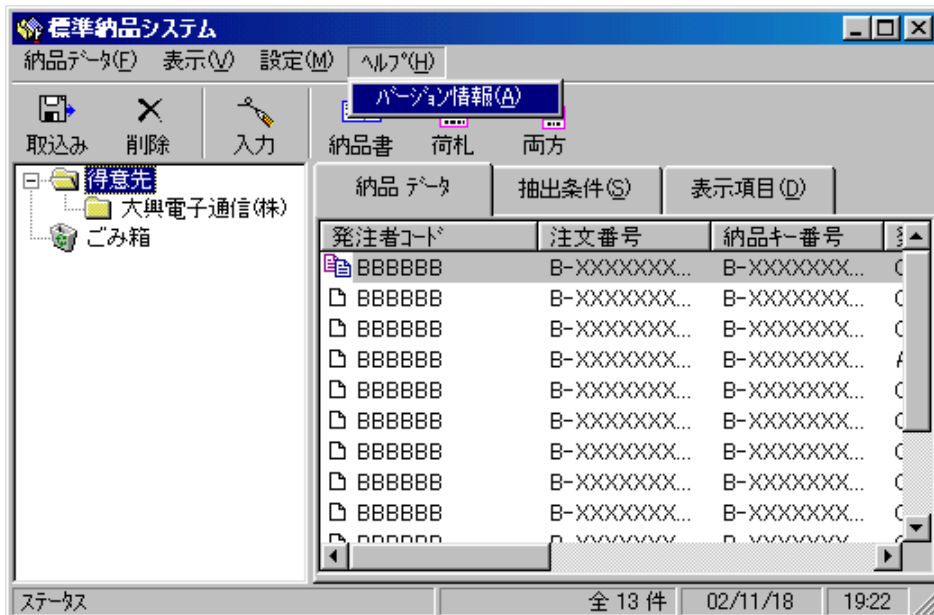
- (6) 正常に処理が完了すると次のメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。



- (7) 以上でアップデート作業は終了です。次項の「バージョン・レベルの確認方法」を参照し、ご使用の「標準納品システム EDINEXT/Form」のバージョンが最新レベルへアップデートされているか確認してください。

2. 「バージョン・レベルの確認方法」

- (1) ご使用の「標準納品システム EDINEXT/Form」を起動し「ヘルプ」メニューの「バージョン情報」を選択してください。



- (2) 下記の画面が表示されたら上から二段目の「Version:」の項目を確認してください。



3. 「リリースノート」

以下は「標準納品システム EDINEXT/Form ver5」シリーズの修正履歴です。
新しいレベルは常に古いレベルの修正を包含しています。

□V5.1 L21 (2005 年 7 月リリース) <一部のバイヤー企業様向け>

- ・一部バイヤーオプションに対応

□V5.1 L20 (未リリース) <一部企業様向け>

- ・一部企業様向け機能追加

□V5.1 L19 (2004 年 12 月リリース)

- ・データ取り込み処理で「3035 メモリ不足」となる不具合を修正

→L16 以降のバージョンで約 2 万件以上の注文データを蓄積した場合にデータ取り込み処理で「3035 メモリ不足」エラーが生じ、最初の 1 件の取り込みができない現象を解消した。

□V5.1 L18 (2004 年 11 月リリース)

- ・一部バイヤーオプションに対応

□V5.1 L17 (2004 年 7 月リリース)

- ・オプション「ラベルプリンタ印刷機能」の修正

→V5.1L15 で対応した ISHIDA 製ラベルプリンタの対応内容を修正した。

□V5.1 L16 (2004 年 7 月リリース)

- ・データ取り込み時のデータ選択処理を変更

→従来はデータ取り込み後、「取り込み前に選択されていたデータ」と「取り込んだデータ」を選択(反転)された状態にしていたが、「取り込んだデータ」のみを選択(反転)された状態にするよう変更した。

□V5.1 L15 (未リリース)

- ・オプション「ラベルプリンタ印刷機能」の変更

→オプション「ラベルプリンタ印刷機能」の対応機種に、従来の SATO 製のほか ISHIDA 製を追加した。

□V5.1 L14 (2004年6月リリース)

・納品情報(2G版)のレイアウトを変更

→内税取引データに対応するため、納品情報(2G版)レイアウトを拡張し「057:消費税区分」「059:課税区分」を追加した。

★旧レイアウト抜粋(EDINEXT/Form V5.1 L01)

JEITANo.	項目名	属性	バイト数	位置
173	図面・仕様書番号	X(30)	30	1,505
-	FILLER	X(466)	466	1,535

★新レイアウト抜粋

JEITANo.	項目名	属性	バイト数	位置	適用レベル
173	図面・仕様書番号	X(30)	30	1,505	
028	受渡場所	X(8)	8	1,535	L08
057	消費税区分	X(1)	1	1,543	L14
059	課税区分	X(1)	1	1,544	L14
-	FILLER	X(456)	456	1,545	

・内税取引での金額及び税額印字方法を変更

→税込み(内税)単価の場合、税額計算をしていなかったが、税額計算及び印字をするよう変更。

課税区分	課税		非課税	
	外税	内税	外税	内税
単価	単価	単価	単価	
税抜金額	出荷金額	出荷金額 - 消費税額	出荷金額	
消費税額	出荷金額 × 0.05	出荷金額 × 5/105	-	
税込金額	出荷金額 + 消費税額	出荷金額	出荷金額	

注) 出荷金額 = 単価 × 数量

上記にともない、内税の場合に合計額(税込額)計算で端数が発生することから、得意先毎の設定として、合計額(税込額)計算時の端数指定設定を追加。

制限事項

1. 内税と外税で、出荷金額計算時の端数指定を別々に設定することはできません。
2. 内税と外税で、税計算の端数指定を別々に設定することはできません。

□V5.1 L13 (2004年5月リリース)

・一部のパソコンで発生する印刷設定画面のフリーズ障害に対応

→富士通製 FMV6633CL6s を Windows2000Professional にて利用する場合に、「印刷の設定」画面を表示しようとすると、動作停止障害が発生していたことに対応し動作可能とした。

□V5.1 L12 (2004年3月リリース) <一部のバイヤー企業様向け>

・一部バイヤーオプションに対応

□V5.1 L11 (2003年12月リリース) <一部のバイヤー企業様向け>

・一部バイヤーオプションに対応

□V5.1 L10 (2003年12月リリース)

・通貨コードの「納品書」への出力規則を変更

→外貨取引データの納品書出力時、従来は「発注者使用欄」へ通貨コードを無条件で出力していたが、「納品書」部「単価」欄にデータが出力されない場合は「発注者使用欄」へも通貨コードを出力しないよう変更

・複数部数出力時に印刷順序パターンを選択出来るよう機能追加

→データ①とデータ②を2部印刷する場合、従来は①②③①②③という印刷順序で出力していたが、①②③①②③と①①②②③③という二種類の印刷順序からの選択機能を追加

※「標準納品システム」起動後、「納品データ」メニュー「印刷の設定」を選択し「オプション」タブをクリックすると、画面左下に「複数部数時の印刷順序」という項目が選択出来ます。

「部単位で印刷する」設定をチェックすると①②③①②③、チェックをはずすと①①②②③③という印刷順序で出力されます。(初期値:部単位印刷)

□V5.1 L09 (未リリース)

・「データの管理」機能を修正・拡張

→「データの管理」機能にて選択可能な退避データ種別として、漢字項目に対応した「納品情報(2G:2000バイト+改行)」を追加

→使用不可退避種別「テキストファイル」および、「旧バージョン互換」のコメントを削除

・Windows2000、WindowsXPにて「印刷の設定」画面から呼び出されるプリンタプロパティ画面を修正

→「印刷の設定」画面からプリンターの詳細設定を操作出来るよう修正

・「Dラベル」印刷中止時に出力される「0:正常終了」というメッセージを出力しないよう修正

・一部バイヤーオプションでの不具合に対応

□V5.1 L08 (2003年8月リリース) <一部のバイヤー企業様向け>

・一部バイヤーオプションに対応

□V5.1 L07 (2003年7月リリース)

・Web-EDI運用時、条件により「標準納品システム」が起動しない不具合を修正

・一部バイヤーオプションに対応

■V5.1 L06 Install CD(2003年3月リリース)

・新規インストール時の「バーコード情報」初期設定値を変更

→ 600dpiでの標準適正值に変更

・新規インストール時の「データ取込処理オプション」初期設定値を変更

→ データ取込みの初期設定として、納入指示数量を納入数量へセットする。

□V5.1 L06 (2003年3月リリース)

・一部のデータで、「外貨項目」が正しく出力されない不具合を修正

・「バックアップツール」の自動起動処理を削除

□V5.1 L05 (2002年12月リリース)

- ・一部の得意先で、「得意先追加プログラム」適用後、印刷処理で「カレントレコードがありません。(3201)」というエラーメッセージが出力され印刷出来ない不具合を修正

※ L02～L04 に内蔵されている不具合を解消

- ・「Dラベル」部の「発注者用備考」への1バイト文字出力文字数が「18」文字になってしまう不具合を修正
(2003年1月修正)

※ L04 と L05(2002年12月提供分)に内蔵されている不具合を解消

□V5.1 L04 (2002年11月リリース)

- ・「印刷設定」および「得意先情報」内の「バーコードマスタ」画面へ「解像度」に関する備考を付加
- ・「納品書」部での以下の項目について日本語印字文字数制限値を変更

受渡場所名 旧)16文字 → 新)20文字

購買担当 旧)5文字 → 新)7文字

発注者用備考 旧)34文字 → 新)50文字

受注者用備考 旧)18文字 → 新)25文字

品名(品名仕様) 旧)21文字 → 新)30文字

- ・「Dラベル」部での以下の項目について日本語印字文字数制限値を変更

品名(品名仕様) 旧)21文字 → 新)30文字

□V5.1 L03 (2002年8月リリース) <一部のバイヤー企業様向け>

- ・「一体型納品書」使用時「納品書」部での以下の項目について日本語印字文字数制限値を変更

受渡場所名 旧)10文字 → 新)16文字

- ・バーコード出力可能文字に「スペース」を追加

□V5.1 L02 (2002年8月リリース) <一部のバイヤー企業様向け>

- ・一部のプリンタドライバ使用時に、プリンタ情報が設定出来ない不具合を修正

以上